

# 「行財政構造改革推進プラン」見直し素案

## 市民のくらしも大変なのに・・・

### 高齢者・子育て世帯などに大きな影響



日本共産党市議会議員  
**松村ヤス子**の  
議会報告の

2010年12月

## 新年度予算案に

新年度予算案に盛り込まれる市民負担増などの主なものを紹介します。

**市バス敬老パス有料化**  
(70歳以上の高齢者)  
無料⇒乗車1回100円 もしくは  
交付時に4,500円、7,500円、15,000  
円払うパス券

**会館使用料**  
地区会館・公民館・体育館・学校  
施設など

**消防団の報酬**  
⇒1割削減

**行政協力員制度**  
(町内会の掲示板へのポス  
ター貼りや回覧板のお世話)  
⇒廃止

**火葬料**  
大人 11,000円⇒13,200円

**地域敬老委託事業**  
上限年間130万円⇒65万円

**さわやか指導員の  
報償費(お礼)**  
廃止し、交通費程度に

**老人いこいの家**  
12万円⇒10万円

**老人クラブ研修の  
バス借上げ料**  
22年度半額に  
23年度で廃止

**市税・幼稚園保育  
料などの減免制度**  
10割減免の見直し

**自然学校の児童の  
食費・副食費・教材費の保護者負担  
への助成**  
⇒廃止

尼崎市は昨年11月に「行財政構造改革推進プラン」見直し案を発表。

市バス敬老パスを始め、市税や幼稚園保育料の減免制度の見直し、火葬料の値上げなど市民生活を直撃する内容です。なお、市職員の期末勤勉手当を20%、12億9000万円削減する内容も含まれています。

市の財政が厳しいのは、事実ですが、

その背景には、  
①法人市民税や個人市民税が減っていること

②国が、どの自治体でも、平均的な市民サービスを保障するために自治体に交付する地方交付税が大幅に減らされていること

③駅前開発や土地購入などの借金払いを最優先にしていること

④年金のない人少ない年金だけでは生活できない高齢者や若い失業者の増加で、生活保護費が増加していること  
などがあります。

国の悪政による不況の影響と社会保障の切り下げ、過去の開発のツケで市民が苦しめられています。

### 解決への道は

市財政の収入を増やすことが必要です。

そのためには、

生活保護費は市が25%、国が75%を負担しています。これを全額国負担にするよう求めること

大企業が溜め込んだ200兆円もの内部留保を取り崩し、正規雇用を増やし、労働者の賃金を増やすことが不可欠です。

そうすれば、市内消費が増え、市内景気も回復し、市税収入も増えます。

また、地方交付税の目的が果たせるように、額を増やすよう求めること、

企業立地促進条例による大企業優遇を止めること

過去の借金返済期間を伸ばすなどして、市民のくらしを守る財源を確保することが必要です。

また、大企業への行き過ぎた減税をもとに戻せば、市に入る法人市民税も増えます。

国の政治を変えることが不可欠です。

## 見直し内容の紹介 (1面紹介以外の主なもの)

- 学校開放事業  
運動場の夜間照明費用の負担  
1団体1回 1,000円  
児童・生徒中心の団体の場合 500円
- 健康づくり教室の受講代  
1回850円⇒1,700円
- イベント行事等の一時凍結  
市民まつりの補助を凍結  
近松賞は上演時期の延期、補助金削減  
その他年中行事的なまつり等
- 要保護・準用保護児童生徒  
就学援助金の見直し  
宿泊訓練費の市単独上乗せ補助の廃止  
課外クラブ活動費の市単独補助の廃止  
課外クラブ活動費については、国の制度としてたに市単独補助以上の額が補助される見直し

大企業は正社員から非正規社員におきかえる。あるいはリストラ、賃下げを行い、働いている人からどんどん吸い上げて溜め込んでい

正規社員が当たり前の社会に、また、中小企業で働く人の最低賃金も1000円以上に引き上げることで

## 内部留保こそ最大の埋蔵金

一方、企業の内部留保が200兆円から400兆円になつていきます。そのうちの半分は大企業がため込んでいます。

日本中にお金がないのでは  
ありません  
働く人の賃金減らし  
大企業は増やし続ける内部留保  
消費税増税でなく  
力のある大企業や  
高額所得者の減税もとに戻して

失業問題貧困問題の深刻さは、市民生活をまもるべき市の財政をとて厳しくついでます。  
内部留保を貯め続けている大企業や鳩山さんのお母さんのような大株主への行き過ぎた減税をもとに戻せば、市民のくらしを支える自治体本来の仕事ができる財政も確保できるのです。

今年の7月には参議院議員選挙があります。  
日本共産党へのご支援をよろしくお願いいたします。

今の景気問題を大きな目で見て、10年間で、労働者の賃金が、280兆円から250兆円に、2兆円、つまり1割も落ちています。

新政権は、埋蔵金埋蔵金といっています。このため込んだお金こそ、最大の埋蔵金です。

## 自治体にも お金がある

失業者、貧困問題の深刻さは、市民生活をまもるべき市の財政をとて厳しくついでます。

## でこぼこの道、夜に工事しました



国道2号線の南側、トポスの東側の南北の道路があまりにもいたんでいました。デコボコであり、時には、50センチぐらいの穴があちこちでよくあいていました。そのために、かなり前から、舗装整備を要望していました。

日中は、買い物客、車、自転車の多い道路であり、工事は、夜間にしなければならない道路です。

1月末頃に、下水のマンホールのふたが新しいものに取り替えられていたので、舗装整備が行われると知りました。何日かたってみると、きれいにでき上がっていました。

夜間の工事は昼間の工事に比べて工事費が割高になることですが、当然のことだと思います。

炉で調整してきたアスファルトの温度が、一定温度以下になると現場では、パラパラになってしまい、一定以上の温度では固まらずに、ブヨブヨになるとのことです。

冬の夜間の工事は、アスファルトの温度管理が難しいようです。いろいろ苦労があるのですね。

2号線南側の出屋敷線の西側歩道も随分傷んでいるところがあります。これも、きれいにする計画になっています。

市の財政が大変だといふことは、多くの市民は承知していると思います。しかし、仕方がないところから始めるわけにはいかならないのです。  
大阪の橋下知事は好きではないけれど、国に一生懸命物申している。尼崎市長もあれぐらい強いというはしいところ、声をよく聞きます。

私もそう思います。地方交付税がどんどん減らされて、たまったものではないと思います。市のお金が大企業や高額所得者に集中しているのです。  
市長は、『うしろい』

## 市長は、市民といっしょに「地方自治体にもっと財源を」の声を

はおかしい。ただすべき。もっと地方にお金を」と市民といっしょに声を上げてほしい。市がそんな大きな市民大会をするのであれば、近所の人を誘って行く。市長が市民の気持ちになつてくべきことを言うてくれるのだしたら、少々の値上げも我慢できる。いづべきことをいわんと市民にばかり押し付けるのはあかん」このようにおっしゃる方が増えています。それに、鳩山首相や小沢民主党幹事長のお金の問題にたいして庶民はみんな怒っています。